

令和3年度 全国学力・学習状況調査結果及び分析・対策（松江市立津田小学校）

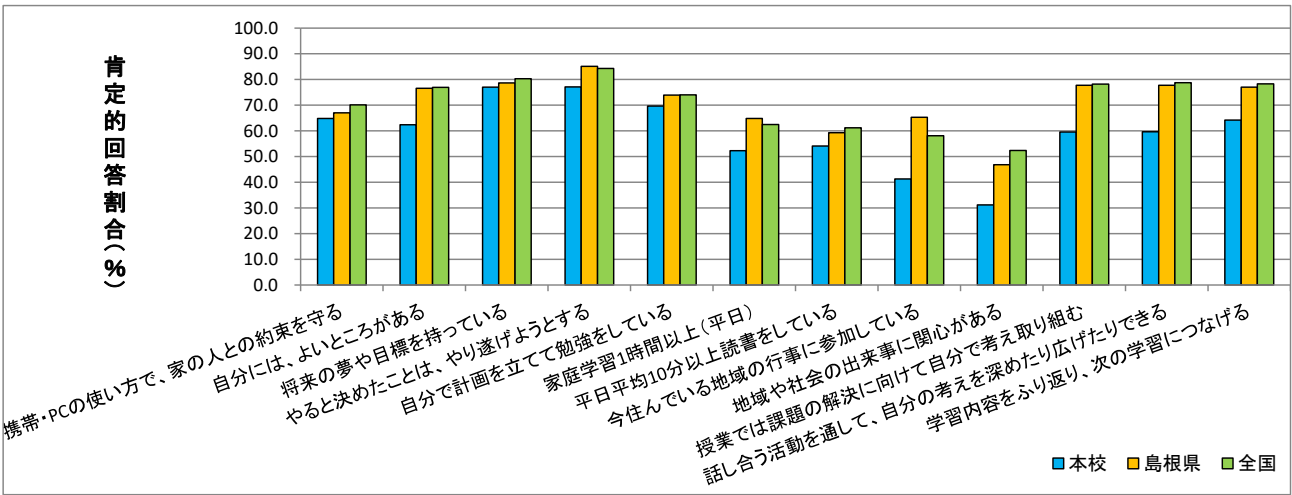
(1)学力調査結果から見られた傾向

	成果と課題(○:成果, ●:課題)	対 策
国語	○資料を用いた目的を理解する力。(話す・聞く) ○文の中における修飾語と被修飾語との関係をとらえる力。 ●文章全体の構成を捉え、内容の中心を読む力。 ●漢字を文の中で正しく使う力。(言語の活用)	・説明文や物語文など、文章の特性に応じた読み方(読みの観点)を指導する。 ・日記やノート指導など、日常的に書く場を広げる。 ・考える(読む)と書く(話す)を適切に授業の中に位置づけ、語彙力や言葉を活用する力を育てる。
算数	○棒グラフから項目間の関係を捉える力。(データを読む力) ●速さの求め方とそれが表す意味の理解。 ●データを表に分類・整理する技能。 ●三角形や四角形の面積の求め方とそれを説明する力。	・用語や定義などを言葉に表出させることで理解の定着を図る。 ・1時間の授業を通して、獲得した知識や技能を活用して説明する場を増やす。

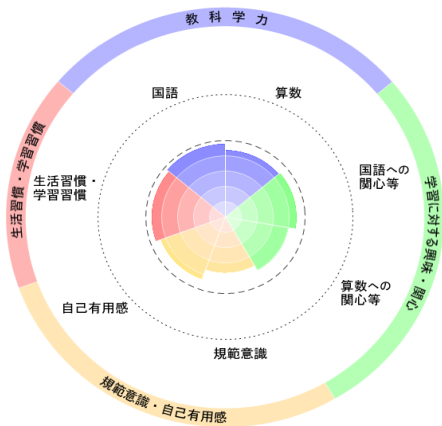
(2)生活意識調査から見られた傾向

成果と課題(○:成果, ●:課題)	対 策
○将来に向けての夢や目標をもっている子どもの割合が高く、自己の生き方を自律的に考えようとする態度がある。 ●主体的に地域社会の問題を見つけて考えたり、関わったりしようとするような、地域社会の一員としての自覚。 ●主体的に粘り強く課題に取り組もうとする姿勢。	・地域と子どもが協働して地域づくりに取り組む体験を重視し、学校が地域に貢献する活動を積極的に取り入れる。 ・主体的な学びを生み出すための学習材や学習過程の工夫及びICTの活用などに取り組む。

(3)意識調査(学力との相関が指摘されているものや、教育委員会として注目しているものを挙げています)



(4)学力調査及び生活意識調査から見られた傾向(破線は全国平均)



(5)その他、今後特に力を入れて取り組むこと

- ◇生活学習の基盤づくりについて、全校で取り組むめあての設定
 - ①始まりの時間を守る(席に着く・移動する・準備する)
 - ②話を聞く力をつける(話し手を見る・反応する・返事する など)
- ◇授業づくりについて
 - ①主体的な学びにするための、また「考える」「書く」「話す」を適切に授業の中に位置付けての、対話型の授業づくり。(津田小授業スタンダードづくり)
 - ②教科を問わず日常的に取り組む学びを支える力の明確化。

【受検者数】 109 名

※欠席等により調査によって受検者数が異なる場合は、最少の受検者数をもって表示。